

「台北海外交流研修における看護学生の学び」に関する研究のお知らせ

帝京大学医療技術学部看護学科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成 28 年 4 月 28 日 ～ 平成 29 年 12 月 31 日

〔研究課題〕

台北海外交流研修における看護学生の学び

〔研究目的〕

本研究の目的は、海外交流研修において学生が期待する学び及び得た学びを明らかにすることです。

〔研究意義〕

看護学生が海外交流研修に参加してどのような学びを得ることを期待しているのか、また海外交流研修でどのような学びを得たのかを明らかにすることができれば、近年求められている人々の文化背景、価値観の多様性を理解・認識する能力、国際的視点を備えた看護師を育成するための看護高等教育の今後のあり方を検討する助けになります。

〔対象・研究方法〕

本研究の対象は、平成 26 年度本学看護学科台北医科大学海外交流研修に参加した学生が提出した研修参加応募文書、研修課題、交流プログラム評価アンケートにおける記述・回答です。本研究対象記述をデータ化し質的・帰納的方法を用いて分析します。

〔研究機関名〕

本研究は、帝京大学医療技術学部看護学科での単独研究で、以下の者が研究を行います。

林さとみ・医療技術学部看護学科・准教授(研究責任者)

厚澤博美・医療技術学部看護学科・助教

大河内敦子・医療技術学部看護学科・助手

望月由紀子・医療技術学部看護学科・講師

南川雅子・医療技術学部看護学科・教授

〔個人情報の取り扱い〕

本研究対象記述を研究責任者が匿名化し連結不可能にしてデータ化します。データ化した記述にはこの研究固有の番号をつけコード化し電子ファイルで管理します。データを含む電子ファイルは、研究室内の施錠できる場所で厳重に管理します。本研究で取り扱うデータ・情報は本研究の目的にのみ用い、他の研究機関に提供することはありません。

〔その他〕(健康保険・謝金等について、必要に応じて記載する。)

本研究への参加・協力によって医療費が発生したり、謝礼を支払うことはありません。

対象文書を提出した学生で、自身の提出文書の本研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：林さとみ

研究分担者：厚澤博美、大河内敦子、望月由紀子、南川雅子

住所：〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1 帝京大学医療技術学部看護学科

TEL:03-3964-1211(代表)〔内線 46144〕